

太平洋戦争戦没韓国人遺族会

1974. 11. 29

訳文

受信(提出先): 外務部長 友
保健社会部長 友

韓国学徒兵

(1,20同志会々長)

参照(協賛先): 具泰会 無任所 友
釜山霊園 理事長

題目: 太平洋戦争戦没者慰霊塔建立の趣旨

私ども遺族会は(71.2.7設立)日本国
東京祐天寺に奉安されてある遺骨の祖国奉還を
四年余りに亘り期待してきま(た)が、今般改訂か
この箱願をとげ、年内に奉還のはこびと存りま(た)
ことを承りまして、衷心より感謝を申し上げます。
新さまには、私ども遺族会はこの箱願の達成
にあたり、併せて永平異国の地にさまおつて(た)
淋しい霊魂を慰霊するんめ、慰霊塔を建立
しその周辺に遺骨を埋葬して、永久に奉安出来
ますように善処方を申願い致すものであります。

慰霊塔建立の趣旨(理由)

1. 日本改訂は22,000名の戦没者名簿を發表(た) ことかあります。
2. 今尚もどうぬ 実際の行方不明者(失踪者)までも 併せまると、私どもの調査として10万名を越えて 居ると推定される居ります。
3. そのうち遺骨の判明しおるのは2,329名に 過ぎません。
4. このな奉還される遺骨はそのうちの940近い 数であります。

5. このように遺骨を返らぬ英霊を慰霊する為にも、遺骨ある英霊を含めて慰霊塔を建てる(正しい趣旨であります)。
6. 奉還される遺骨は建立される慰霊塔のそばに墓地をつくり、永久に慰霊して下さる方法を構案(内配慮又ハ考慮の意)して下さるように申請し申します。
7. 慰霊塔が建立されて墓地が設定される時まで、釜山市立公園墓地に建立される納骨堂に遺骨を奉安して下さるように切に申請し申します。

ソウル市中区大平路=街 69
太平ビル 905号
太平洋戦争戦没韓国人遺族会
会長 朴 湘 在